大分市地域まちづくりビジョン

大南地域ビジョン会議 通信

第3号

発行：大南地域ビジョン会議事務局

この通信は、地域ビジョン会議の内容について地域の皆様にご報告するとともに、地域の現状や課題、将来像について共有していただくために発行いたします。

地域ビジョン会議の目的

本市においても、今後、人口が減少に転じることが予測され、地域コミュニティの活性化や効率的な行政運営など諸課題への対策が求められています。

これら課題の解決には、行政が市民の意向や地域の実情を的確に把握し、市政への反映に努めることが重要です。

このような中、市内 13 地域において、地域の代表者等で構成する『ビジョン会議』を設置し、議論を深めそれぞれの特性を踏まえた「地域まちづくりビジョン」としてご提言いただきます。

第3回大南地域ビジョン会議

■平成 29 年 11 月 28 日（火）19：00～
■大南市民センター　会議室

開会
　一、会長あいさつ
　二、議事
　　グループワーク
　　・まちづくりのコンセプトについて
　　・まちづくり事業の検討について
　三、その他
閉会

グループワークの流れ

テーマ1　ビジョン（コンセプト）を導く → テーマ2　SWOT 分析によるまちづくり事業を導く → 3　成果発表

SWOT 分析とは　S「地域の強みは何か？」、W「地域の弱みは何か？」、O「まちづくりの機会・チャンス」、T「まちづくりの脅威となる外部要因」といった地域の特色を分析し、解決すべき課題や具体的な改善策などを導き出す手法

S 強み	W 弱み
O 機会	T 脅威

①SO「S:強み」×「O:機会」（活用・積極姿勢）
・「機会」に応じた「強み」の活用策
・組織や地域の「強み」を生かして、「機会」を勝ち取るための積極姿勢の施策
②ST「S:強み」×「T:脅威」（改善・差別化）
・「強み」を生かした「脅威」の解消策
・組織や地域の「強み」を生かして、「脅威」を招かないための差別化の視点たった施策
③WO「W:弱み」×「O:機会」（改善・弱点強化）
・「機会」を生かした「弱み」の改善策
・「弱み」を補強して「機会」を掴むための弱点強化の施策
④WT「W:弱み」×「T:脅威」（回避・防衛、撤退）
・「脅威」に対する「弱み」の回避策
・「弱み」で「脅威」を招いてしまうシナリオを避けるための防衛、撤退の施策

テーマ1

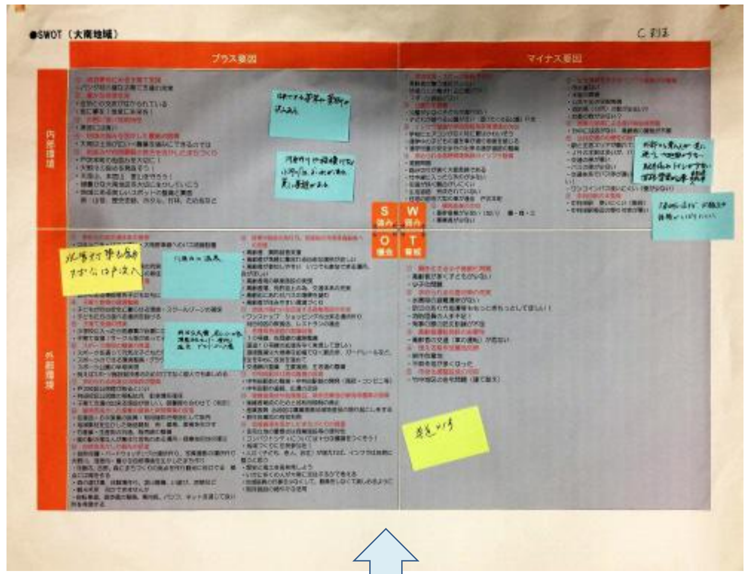
第２回ビジョン会議で各班において導いた３つのビジョン（コンセプト）から、参加委員の皆様の投票により一つのビジョン（コンセプト）を導きました。

コンセプト案
『あすを　ひらこう　南の大地』・・・・・・・・・・10 票
『南都で生きる！！』・・・・・・・・・・・・・・・ ３票
『大分で１番大南　取り戻そう心と自然』・・・・・ ６票
投票結果：共通ビジョン（コンセプト）案として
『あすを　ひらこう　南の大地』を導きました。

テーマ2

① これまでのビジョン会議で出された意見の整理を行ったSWOT 図に見直し加筆修正を行いました。

加筆修正項目
・水害・土砂災害に弱い（W）
・竹中地域に交流の機会がない（W）
・ゴルフ場が多い（集客力）（S）
・県の中心に位置している（S）
・高速インターがある（米良 IC）（S）
・豊肥線が通っている
（熊本行きの特急が停車する）（S）
・食の里（食によるまちづくり）（S）
・大野川の災害（T）
・人が集まる象徴的な所がない
（人が集まれば商業も栄える）（W）
・バス停の見直し（W）
・活用できる薬草や薬樹がたくさんある（S）
・河原内川や稲積川など小河川には
良い水が流れ美しい景観がある（S）
・水害対策も含めたスポーツ公園を（O）
・河原内に温泉（O）
・外部から来た人が道に迷う、地図が少ない、
道路整備が必要（自動車、自転車、人の交通網）（W）
・大南地区は広く、
問題点や課題が絞りにくい（W）

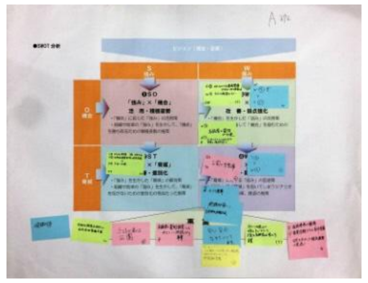


これまでのビジョン会議で出された意見の整理を行ったＳＷＯＴ図に、左記のような加筆修正を行いました。

テーマ 2

② まちづくりの方向性を踏まえ、SWOT 分析による事業の抽出を行うとともに、SWOT 対象図に抽出した事業の対象となる地点を図面に落としていきました。
③まちづくりアイデアを導き出した考案者から班のメンバー及び市職員に事業内容の発表を行いました。

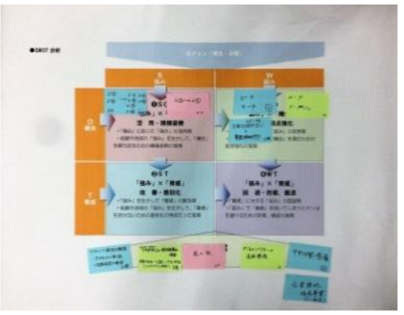
A 班



抽出された事業

①子どもが遊べる公園（WxT）
②安全・安心なまちづくり（WxT）
③高齢者などの買い物弱者へのやさしい地域づくり事業（WxO）
④スポーツを通して元気な子どもたち、元気な高齢者を活かす事業（WxO）
⑤市街化調整区域内の住宅用地整備事業（SxT）
⑥過疎対策（WxT）
⑦1 道路環境の整備（WxO）
　2 農業体験できる条件整備、自然を活かした観光農業の促進（WxT）

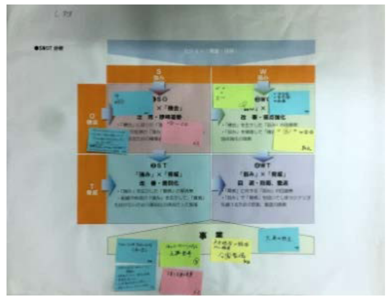
B 班



抽出された事業

①判田から竹中への道路整備（WxO）
②企業誘致推進事業（SxO）
③シャトルバス（WxO）
④スポーツ施設の推進（WxO）
⑤道の駅（SxO）
⑥中判田駅の整備（WxO）

C 班



抽出された事業

①子育て支援の充実（WxO）
②住みたくなるまち、訪れたくなるまち大南を造る（WxO）
③薬草料理、薬草茶の教室（WxO）
④住みよいまちづくりのための道路整備（WxO）
⑤大南の独立（WxO）
⑥戸次地区避難所の確保、公園整備

成 果 発 表　～ 班の導いた事業の主要なポイントを発表 ～

【A 班】
大南には子どもが身近に遊べる広場や公園が少なく、スポーツができる施設もありません。スポーツなどを通じて子どもと高齢者が一緒に集う場があれば人づくりもできる。また、災害の時の避難場所として活用できれば、各地区にいる防災士のネットワークづくりや住民の防災意識を高める取組と合わせて安全・安心なまちづくり事業を実施したい。次に、買い物弱者に優しい地域づくりとして、ワンストップショッピングができる場所をつくり、交通手段がなく日常の買い物に困っている高齢者をコミュニティバスで送迎する事業が提案されました。このほか、市街化調整区域内の住宅用地整備事業を市の主導で行えば無秩序な開発につながることはなく、こういった過疎対策事業が必要であるという意見。現在、地の利を活かしてやっている観光農業などを一層促進するためにも道路環境を整備すべきという意見があります。

番号	事業名	コメント
①	子どもが遊べる公園	・地域の人が活用できる、子どもが近所で遊べる公園や広場がほしい ・避難場所などにも活用できれば ・①④の事業は重なる部分がある
②	安全・安心なまちづくり	・水害時の避難場所が戸次にない ・防災士のネットワークづくり ・防災意識を高める →堤防が整備され水害を経験した人が少なくなってきたので
③	高齢者などの買い物弱者へのやさしい地域づくり事業	・高齢者の交通手段が無くなり、買いものが不便に ・戸次にワンストップショッピングが出来る地域を作る ・大南地域にコミュニティバスを走らせて１カ所で買いものができれば ・判田では高齢者を月２回送り迎えをして買いものをする事業を実施している
④	スポーツを通して元気な子どもたち、元気な高齢者を活かす事業	・子どもたちが身近に遊べる公園がない ・スポーツ施設がない ・子どもや高齢者が一緒に利用できれば、人づくりにもできる ・特に判田地域にあれば ・①④の事業は重なる部分がある
⑤	市街化調整区域内の住宅用地整備事業	・市街化調整区域内の使われていない農地や宅地などを、市がまとめて管理し分譲して頂ければ →市が主導すれば無秩序にならない ・竹中地区 ・⑤⑥の事業は重なる部分がある
⑥	過疎対策	・市街化調整区域の撤廃 ・インフラ整備（道路） →河原内地区では河川プールまで整備できれば ・⑤⑥の事業は重なる部分がある
⑦	①道路環境の整備 ②農業体験できる条件整備、自然を活かした観光農業の促進	・大南の地の利を活かし観光農業を増やしていく ・消費者と農業を通じてふれあいの場を広げていきたい ・地域の生活道、県道、市道などの整備が遅れているのが問題

【B 班】
中判田駅の問題が一番に出てきました。それから、国道 10 号が整備できたらぜひ、竹中の方にも道を通して欲しいということで道路整備を挙げました。また道の駅と重なるのですが、企業の誘致です。大南は広い土地がありますので行政で調整区域とか難しい問題もありますが、夢として企業誘致の推進ということです。また、23：30 まで JR があるので、それに併せて大南地区をまわるようなシャトルバスがあったらいいなという意見がありました。それとスポーツ施設なのですが、今、進められていますスポーツ公園の問題を早く解決していただきたいという問題です。次に、道の駅をつくりそこで大南で出来た品物を消費したらいいのかなと思いました。また、中判田駅は先程言ったとおり、ぜひ整備してもらいたいと言うことで挙げています。

番号	事業名	コメント
①	判田から竹中への道路整備	・竹中には街灯が少なく、中央線もない ・交通アクセスの改善が必要
②	企業誘致推進事業	・産業の振興→人口の増加や雇用の創出につながる ・大南地域は高速にも近く、県南や鶴崎方面にもアクセスしやすい ・JRの整備の必要がある ・耕作放棄地を工業用地に転用したり、農業を復活させ6次産業化が実現できれば
③	シャトルバス	・中判田駅を大南地域の玄関口へ →駅から竹中、吉野、戸次、判田を回るシャトルバスを走らせる ・列車は23時過ぎまであるので、それに合わせ利用できれば
④	スポーツ施設の推進	・河原内や判田には広い土地があり、大銀ドーム、パークプレイスに近い →スポーツ施設やトリニータの合宿施設を作るのに大南地域が一番良いと思う ・人が集まれば商売は成り立つ、人を集めるイベントが必要（臼杵の竹宵などの）
⑤	道の駅	・大南だけの商品を置くような道の駅を作りたい ・白滝橋や上戸次周辺に ・農家の人も潤うのでは
⑥	中判田駅の整備	・中判田駅が整備されないと、全ての公共交通機関に影響すると思う ・南高校の生徒も利用しているので利便性の向上が必要 ・無人化するなら、陸橋を無くすことなどを考えてほしい

【C 班】
まず子育て支援の充実で、判田でパンダ村の成功事例が有りますので、事例を活かし展開を図っていきたい。次に、住みたくなるまち、訪れたくなるまちということで、戸次は歴史や自然環境にも恵まれています。これらを大切にして住みたくなるまち、そして他の地域から訪れたくなるまちを作ることです。次に薬草料理・薬草茶教室。これを特産品づくりや教育など、まちづくりまで広げて行く事業です。そして住みよいまちづくりのための道路整備で、河原内や吉野など大南全体です。過疎地域の道路問題は生活圏を脅かすような箇所がたくさんあります。それから大南独立ということが出ています。大南地区の結束の強さ、これを未来に向けて大南地区のみなさんの力を結集して未来につなげて行きたいという意見でございます。そして戸次地区避難所の確保ということで、避難場所としても公園の整備が必要ではないかという意見がございます。

番号	事業名	コメント
①	子育て支援の充実	・子育ての悩みを抱えた人が多いのでは →「ぱんだ村」のような支援が身近にあると良い
②	住みたくなるまち、訪れたくなるまち大南を造る	・地域で育った子どもが住み続けていない →住みたくなるようなまちにしたい ・地域の自然、緑あふれる大地を整備して、住みたくなる、訪れたくなるまちにしたい
③	薬草料理、薬草茶の教室	・現在、薬草料理教室を開いている。 ・薬草マイスターの先生を呼んで、講座を開きたい ・将来は薬草を地域の産業として、商品開発など出来れば
④	住みよいまちづくりのための道路整備	・県道41号、弓立上戸次線など離合が困難な場所が多い ・緊急車両が寄りつけるような整備が必要 ・二車線化は無理でも、50cm広げるだけでも助かる ・高齢者が免許を返納するのにまだ抵抗があるので、高齢者が運転しやすい道路整備を
⑤	大南の独立	・過疎化の問題、道路の問題など市に対するお願いが全く進んでいない ・大南を独立させるぐらいのパワーがないと今後も変わらない ・大分市の次長以上は過疎地に住み、過疎地の痛みをわかるべき ・少しでも解決する方向に行ければ
⑥	戸次地区避難所の確保、公園整備	・戸次地区には水害時の避難場所がない

■問い合わせ：大分市企画部企画課 TEL：537-5603・大南支所 TEL：597-1000